

### 株式会社ENSO ミラボ

所在地：草津市若竹町8-30若竹ビル北1階  
TEL：050-1752-3502  
営業時間：月、水、土(オープン時間変動)  
URL：<https://enso.page/>



代表取締役  
中島 吉浩さん

社会ではICTをうまく活かす能力が今後ますます求められ、小学校でもプログラミング的思考を養うための教育が必須となる中、今年2月に創業された(株)ENSOさんでは、マイクラフトやLEGOブロックなどを用いてプログラミングの基礎を学ぶほか、3Dプリンターを使ったモデル出力やアプリ開発などを通じて、子どもたちが楽しくデジタル技術を学べるITスクール「ミラボ」を運営されています。

そこで今回ご紹介する(株)ENSOさんに、草津商工会議所に職場体験にきた市内の中学生と一緒に、お話を伺ってきました。

#### 自ら問題を解決し、形にする力を育てる

ミラボでは、子供たちが様々なデジタル教材に触れることで、いろいろなことに関心をもち、やりたいことを深める中で、自分で考え、答えを見つけ出す力を伸ばすことを大切にされています。これにより、子どもの頃から、身近にある困り事について深く考え、解決できるようなアイデアを発想し、ICTを活用して、自分でアプリやAIなどの形に作りあげていく力を養うことを目指されています。これが、将来社会で必要とされるデジタル人材を育成することにつながります。

実際に、スクール内では、自ら考えたプログラミングを組み込んだ電子機器を活用して、トマトの栽培が行われていました。センサーが土中の水分量を測定し、必要であれば接続したポンプが水を吸い上げて土に水をやり、LINEでオーナーに水やり報告をします。このように、自分が欲しいと思う装置を、自分で作り出せるということを体験できる環境が整っていました。



#### ICTの力でより良い社会を目指す

また、ここではバーチャルの世界に入れるVRゴーグルを体験することができます。こうして仮想空間を体験した子供たちが、将来、「バーチャルくさつ」を作り出し、草津の街で新たな文化が発信されることがあればうれしいですね。中島さんは、「ICT技術を活用して地域にも貢献していきたいですし、社会課題もICT技術で解決できることがたくさんあります。人材不足に悩む産業でも、ICT技術をうまく使って、産業がより発展できればいいですね。」とおっしゃっていました。そして、社会がより良くなるためには、今後はICTと何か別の分野をつなげていける視点が大切だとお話されていました。



取材の最後に「いろいろな人がデジタル技術を軸としてつながりあえるような場所をつくりたい。地域の人や企業と共に、新しいアイデアを出し合ったり、新しいことを草津で生み出したりしていけたら面白いですね。」と笑顔で話された中島さん。今後のENSOさんの動向に注目です！

#### 職場体験の中学生が取材をしました

今回インタビューをして、まるで商品のようなものを自ら作り出すことができるということに驚きました。植物に水を自動で与える装置や、これまで購入したものをまとめるアプリを自ら作ったという話もありました。僕は、既存のものを使用することが多いのですが、これからは、困ったなと思うことを自らの力で解決できるようになることができたらいいなと思います。(高穂中学校2年 宇野 圭輝)

プログラミングが組み込まれた電子機器やAIは、便利な道具としてだけでなく、社会課題の解決につながり地域貢献をすることができるということを知りました。そういったAIを生み出すために、たくさんのアイデアが必要でその1つ1つのアイデアによって社会が生活しやすくなると思いました。(高穂中学校2年 北川 蒼性)